

家の人と一緒に読んでください。

保健室通信



令和2年4月27日
NO.2
向陽中学校 保健室



不要な外出を控えましょう。



初期症状は「かぜ」強いだるさの訴えが多いのが特徴

報道によると、新型コロナウイルス感染症の初期症状は、発熱、咳、のどの痛みなどの「かぜ症状」です。味覚や嗅覚の異常を感じるほか、「強いだるさ」の訴えが多いのが特徴です。発熱後、一旦解熱し、再び発熱するケースもありますので、すぐに外出しないなどの注意が必要です。



相談の目安

かぜ症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く
強いだるさや息苦しさがある

帰国者・接触者相談センターに電話

電話 37-2255（西部保健所内）

*基礎疾患等があるお子さんについては、上記の症状が2日程度続く場合

休業中も健康チェックを忘れずに！

朝の体温が37.0度以上ある、かぜの症状（咳、頭痛、息苦しさ、強いだるさ等）がある場合は、外出を控え自宅で休養するようにお願いします。

*平熱が高いお子さんの場合は、
通常時との比較で御判断ください。



黄色いカード

登校再開

基礎疾患等のあるお子さんについては、重症化のリスクが高いケースもあることから、主治医に相談の上、個別に登校の判断をしてください。なお、相談結果を必ず、学級担任または養護教諭までお知らせください。



登校再開

5月11日は、「感染症予防健康チェック表」を必ず持参してください。

★登校前に検温と健康チェックを必ず行ってください。（保護者確認をお願いします。）

★登校再開後、発熱やかぜ症状がある場合は、早退させることになります。

急なお迎えに備え、確実に連絡がとれるように準備をお願いします。

